

【NRCLレポート】 2016 リオデジャネイロ/2020 東京 オリンピック・パラリンピック調査

2016年9月調査結果

 **日本リサーチセンター**
Member of Gallup International Association

東京都中央区日本橋本町2-7-1
TEL:03-6667-3400 (代) FAX:03-6667-3470
<http://www.nrc.co.jp/>

◆ NRCLレポート

日本リサーチセンター(NRC)では、全国15～79歳男女1,200人を対象に、訪問留置のオムニバス調査 (NOS) を、毎月定期的に実施しております。対象者の数は、エリア・都市規模と性年代が日本の人口構成に合致するよう設定していますので、全体結果は、日本全国15～79歳男女の実態や意識をバランスよく反映したものとしてご覧になれます。

◆ 「オリンピック・パラリンピック調査」レポート

本レポートは、NOSを利用した弊社の自主調査「2016 リオデジャネイロ /2020 東京 オリンピック・パラリンピック調査」の結果紹介です。ブラジル・リオデジャネイロで、第31回オリンピック競技大会が今年の8/5～8/21に、第15回パラリンピック競技大会が9/7～9/18に開催されました。本調査は、ちょうどパラリンピック開催期間中の9/1～9/13に実施したものです。また、本調査に関連して、オリンピック開催前に実施した調査結果を以下でご紹介しています。

「6月調査結果：2016 リオ オリンピック」 (弊社ホームページにて掲載中)

「7月調査結果：2016 リオ オリンピックとパラリンピック」 (弊社ホームページにて掲載中)

◆ 調査項目

<リオデジャネイロ 夏季オリンピック競技大会について>

- 1) あなたが、テレビなどで観戦した（生中継・録画中継・ハイライトなどで関心を持って見た）ものはどれか？
- 2) 今年の2016リオ オリンピック・パラリンピックについて、あなたの評価は？

<2020年開催予定の東京パラリンピックについて>

- 3) 次回2020年 東京オリンピック・パラリンピックに、興味・関心があるか？

◆2016 リオデジャネイロ

1) 2016 リオ オリンピックでは、「体操」の観戦率が75%でトップ

- 今年のリオ オリンピックの28競技と開会式、閉会式について、テレビなどで観戦した(生中継・録画中継・ハイライトなどで関心を持って見た)ものを聞いたところ、「体操」(75%)の観戦率が最も高かった。
- 次いで、「水泳」(68%)、「卓球」(62%)、「陸上競技」(60%)、「柔道」(59%)、「レスリング」(51%)、「バドミントン」(50%)となり、これら7つが5割以上と高い。
- 「いずれもなし」は9%であり、今回のオリンピックをテレビなどでまったく観戦しなかった人は、1割未満と少なかった。

2) 開催前の意向と比較すると、「卓球」「バドミントン」の観戦率は30ポイント以上アップ

- 開催前の7月に調査した観戦意向率と今回の(開催後の)観戦率を比較すると、多くの競技で回答が上がっていた。つまり、開催前にテレビで見たいと思っていた「意向」よりも、実際に「観戦した」比率が高くなっていた。特に、「卓球」「バドミントン」は30ポイント以上、「体操」「柔道」「レスリング」は20 p 以上、「水泳」「陸上競技」「テニス」「ウエイトリフティング」は10 p 以上も増加していた。
- 一方で、「サッカー」「バレーボール」は10 p 以上低下した。7月の観戦意向率が当初の関心度や期待感を示し、9月の観戦率が日本人選手の活躍とメダルの結果を反映しているのが、この開催前後の動きからも推察される。

3) 2016 リオについては、82%が「良かった」と評価

- リオ「オリンピック・パラリンピック」の評価は、「とても良かった」が35%、「良かった」が47%であり、合わせて8割以上の人が「良かった」と評価した。日本のメダル獲得数が史上最多を更新したことも影響しているのか、日本人全体の評価は高かったと言えるだろう。

◆2020 東京

4) 2020 東京については、「興味・関心がある」人が80%と多い

- 2020年の「東京オリンピック・パラリンピック」については、「とても興味・関心がある」が43%、「やや興味・関心がある」は38%で、合わせて80%の人が関心を持っていると回答した。次の東京への期待感も高いと言える。

2016 リオデジャネイロ

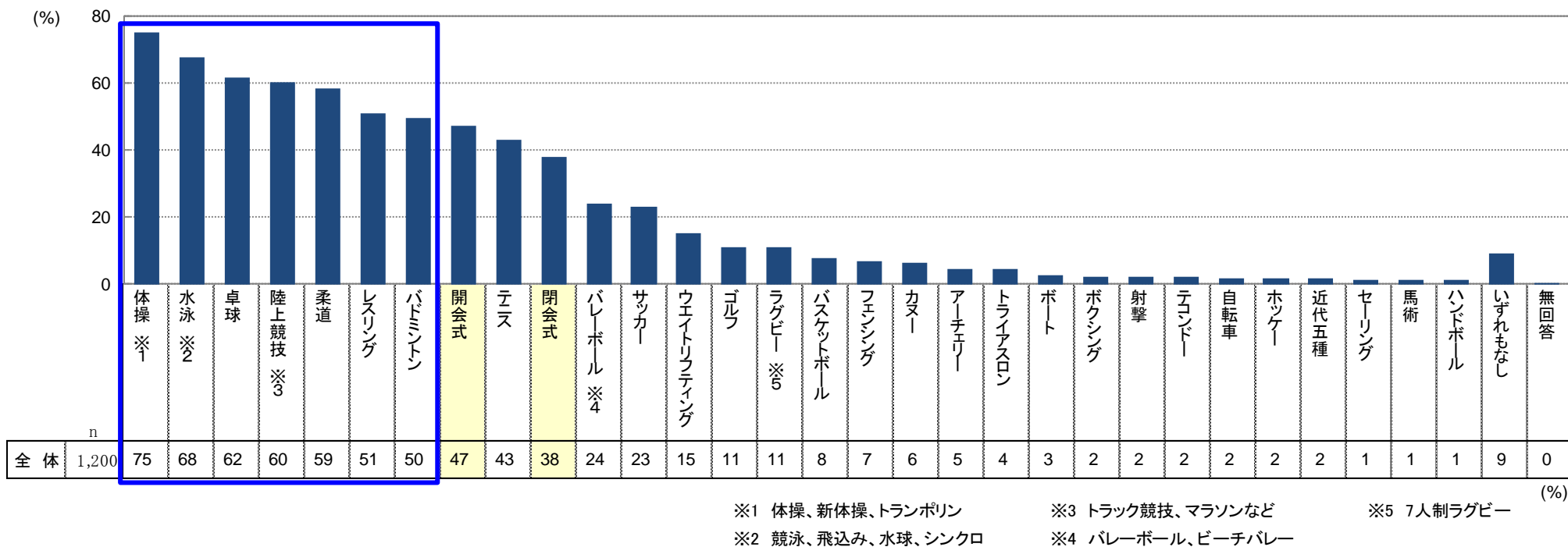
- 【調査項目】** ①今年のオリンピック競技のうち、テレビなどで観戦したもの（注1）
②2016リオデジャネイロ オリンピック・パラリンピックの評価

（注1）同様に、「パラリンピック競技」についても質問を行ったが、パラリンピック開催期間中（9/7～9/18）での調査実施となったため（9/1～9/13）、「観戦した」結果が得られていない部分があった。そのため、「パラリンピック競技の観戦率」については、本レポートでは非掲載とした。

- ◆リオ オリンピックの28競技と開会式、閉会式の計30の選択肢を提示し、「テレビなどで観戦した」ものをいくつでも回答してもらった。
- ◆全体では、「体操」(75%)の観戦率が最も高かった。次いで、「水泳」(68%)、「卓球」(62%)、「陸上競技」(60%)、「柔道」(59%)、「レスリング」(51%)、「バドミントン」(50%)となり、これら7つが5割以上と高い。
- ◆「開会式」は47%、「閉会式」は38%で、観戦率の差は約10ポイントだった。
- ◆「いずれもなし」は9%であり、今回のオリンピックをテレビなどでまったく観戦しなかった人は、1割未満と少なかった。

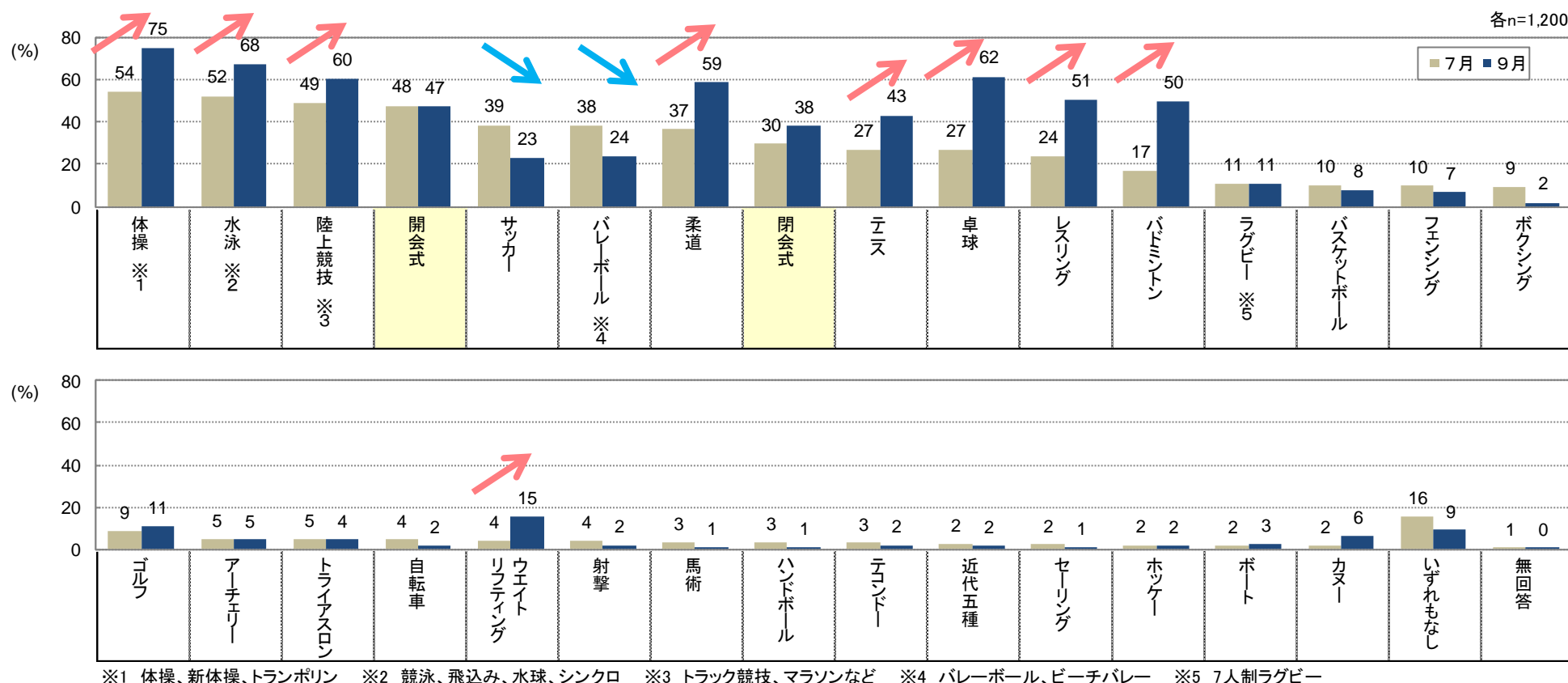
Q 今年8月5日～21日に開催された「リオデジャネイロ 夏季オリンピック競技大会」についてお聞きます。次の中で、あなたが「テレビなどで観戦した（生中継・録画中継・ハイライトなどで関心を持って見た）」ものはどれですか。あてはまるものをすべてお知らせください。（○はいくつでも）

■ 全体（多い順に並び替え）



- ◆7月の開催前調査(7/6~7/18実施)と9月の開催後調査(9/1~9/13実施)で結果を比較してみた。7月では「観戦したいと思うもの」を、9月では「観戦したもの」を質問している。
- ◆7月(開催前)では、「体操」「水泳」「陸上競技」「開会式」の4つの観戦意向率が高かったが、9月(開催後)では、これらの他に「柔道」「卓球」「レスリング」「バドミントン」が高かった。開催前の意向と比べて、開催後の観戦率が上がってるものが多く、特に、「卓球」「バドミントン」は30ポイント以上、「体操」「柔道」「レスリング」は20 p 以上、「水泳」「陸上競技」「テニス」「ウエイトリフティング」は10 p 以上も増加した。
- ◆一方で、「サッカー」「バレーボール」は10 p 以上低下した。7月の観戦意向率が当初の関心度や期待感を示し、9月の観戦率が日本人選手の活躍とメダルの結果を反映しているのが、この開催前後の動きからも推察される。

■ 開催前の観戦意向率(7月)と、開催後の観戦率(9月)の比較 (7月の多い順に並び替え)



- ◆男女別で見ると、「柔道」と「サッカー」は、女性に比べて男性の観戦率が高かった。
- ◆男女×年代別では、男女ともに50代以上では観戦率の高いものが多いが、30代以下では総じて低い傾向がみられる。今回のリオオリンピックでは、若い人よりも上の年代層で関心が高かったことがわかる。オリンピックに対する関心度は、年代の差が大きいようである。

■ 男女×年代別（全体で10%以上のもののみ/全体の多い順）

		n	体操 ※1	水泳 ※2	卓球	陸上競技 ※3	柔道	レスリング	バドミントン	開会式	テニス	閉会式	バレーボール ※4	サッカー	ウエイトリフティング	ゴルフ	ラグビー ※5
全 体	1,200	75	68	62	60	59	51	50	47	43	38	24	23	15	11	11	
男 性	596	72	66	60	63	65	51	50	44	43	34	25	31	18	15	14	
女 性	604	78	69	63	58	52	50	50	51	44	42	23	16	13	7	8	
男 性	15~29才	112	47	42	38	43	33	35	28	21	34	21	18	29	5	4	6
	30~39才	97	57	54	53	55	61	43	38	34	42	22	23	38	13	12	9
	40~49才	109	76	72	64	65	65	48	54	39	46	30	27	30	17	8	16
	50~59才	92	82	70	68	70	78	55	58	49	45	34	26	32	17	22	21
	60~69才	108	91	81	67	77	79	65	61	56	40	46	26	24	29	20	16
	70~79才	78	85	81	74	74	79	67	64	69	54	59	35	32	27	26	18
女 性	15~29才	108	63	48	47	41	31	37	41	23	23	21	15	10	6	1	4
	30~39才	97	64	53	49	47	44	46	42	41	31	37	16	10	5	3	4
	40~49才	105	78	73	59	58	49	51	49	41	48	37	19	19	10	3	9
	50~59才	91	84	77	75	68	65	60	55	62	49	44	25	16	19	13	12
	60~69才	111	94	88	77	73	67	62	65	71	64	58	26	22	23	14	10
	70~79才	92	84	77	74	59	62	43	46	68	46	53	35	16	17	11	8

※1 体操、新体操、トランポリン
 ※2 競泳、飛込み、水球、シンクロ

※3 トラック競技、マラソンなど
 ※4 バレーボール、ビーチバレー

(注) は全体より5ポイント以上高い、 は5ポイント以上低い

- ◆男女×年代別に、観戦率の上位5位をまとめてみた。
- ◆男女×年代別にみても、全体と同様で、上位2位は「体操」と「水泳」が多い。
- ◆全体4位の「陸上競技」は、50代以下の男性では2位～3位、全体5位の「柔道」は、30代以上の男性では1位～4位と高い。また、女性は上位3位まではどの年代層も同じで安定しているが、60代以上の女性では、「開会式」が上位5位に入っている。

■ 男女×年代別（上位5位）

		n	1位		2位		3位		4位		5位	
全体		1,200	体操 ※1	75	水泳 ※2	68	卓球	62	陸上競技 ※3	60	柔道	59
男性	15～29才	112	体操	47	陸上競技	43	水泳	42	卓球	38	レスリング	35
	30～39才	97	柔道	61	体操	57	陸上競技	55	水泳	54	卓球	53
	40～49才	109	体操	76	水泳	72	陸上競技	&	柔道	65	卓球	64
	50～59才	92	体操	82	柔道	78	陸上競技	&	水泳	70	卓球	68
	60～69才	108	体操	91	水泳	81	柔道	79	陸上競技	77	卓球	67
	70～79才	78	体操	85	水泳	81	柔道	79	陸上競技	&	卓球	74
女性	15～29才	108	体操	63	水泳	48	卓球	47	陸上競技	&	バドミントン	41
	30～39才	97	体操	64	水泳	53	卓球	49	陸上競技	47	レスリング	46
	40～49才	105	体操	78	水泳	73	卓球	59	陸上競技	58	レスリング	51
	50～59才	91	体操	84	水泳	77	卓球	75	陸上競技	68	柔道	65
	60～69才	111	体操	94	水泳	88	卓球	77	陸上競技	73	開会式	71
	70～79才	92	体操	84	水泳	77	卓球	74	開会式	68	柔道	62

※1体操、新体操、トランポリン

※2競泳、飛込み、水球、シンクロ

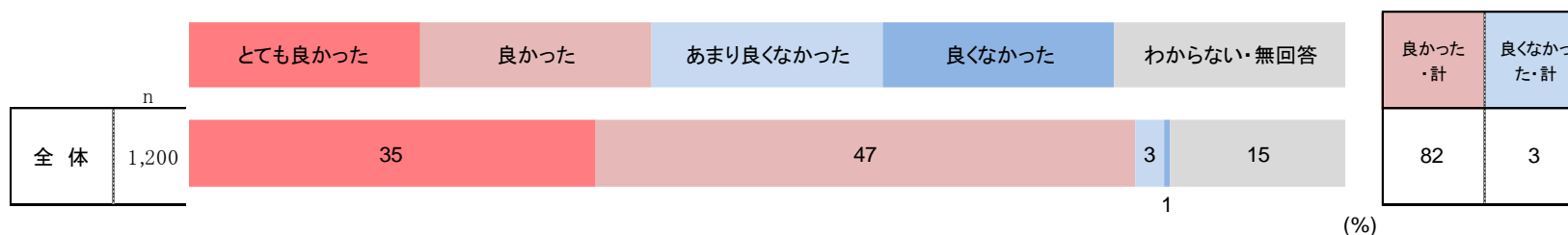
※3トラック競技、マラソンなど

(%)

- ◆ 今回のリオ「オリンピック・パラリンピック」の評価を聞いたところ、全体では、
- ◆ 「とても良かった」という回答は35%、「良かった」は47%であり、合わせて8割以上の方が「良かった」という評価だった。
- ◆ 反対に、「良くなかった」「あまり良くなかった」という回答は、合わせて3%にすぎない。2016リオ オリンピックでは、日本のメダル獲得数が史上最多を更新したことも影響しているのか、日本人全体の評価は高かったと言えるだろう。

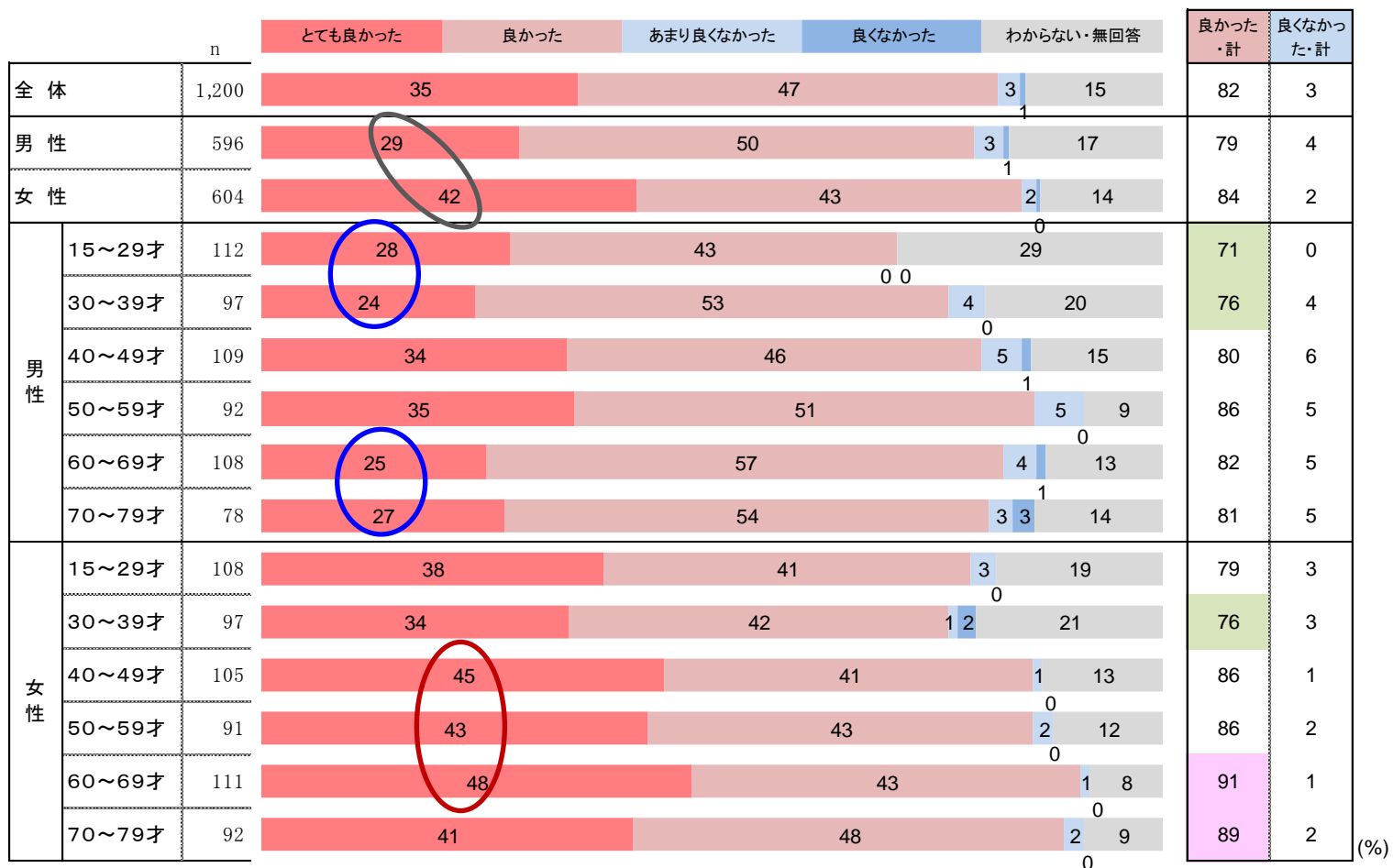
■ 全体

Q 今年の2016リオデジャネイロ「オリンピック」と「パラリンピック」について、どのように感じましたか。あなたの評価にもっとも近いものをお知らせください。
(〇は1つだけ)



- ◆男女別では、男性よりも女性で評価が高い。「とても良かった」でみると、男性29%<女性42%と差が大きい、「良かった・計」では、男性79%<女性84%となり、男性も約8割は「良かった」と回答している。
- ◆年代別でみると、女性の40代~60代は「とても良かった」が4割超と高い。一方、男性の30代以下と60代以上では「とても良かった」が2割台と低い。

■ 男女×年代別



(注) は全体より5ポイント以上高い、 は5ポイント以上低い

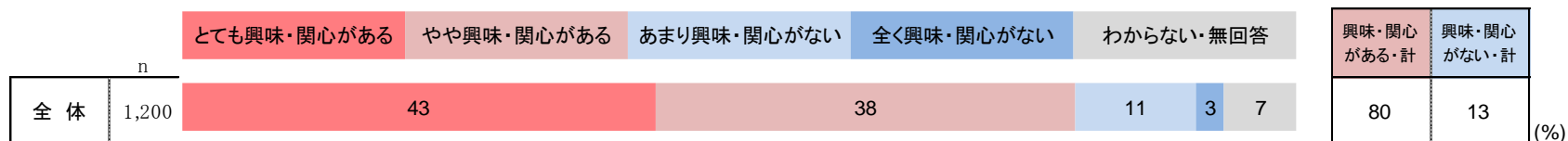
2020 東京 オリンピック・パラリンピック

【調査項目】 ③次回開催の2020年東京に対する興味関心度

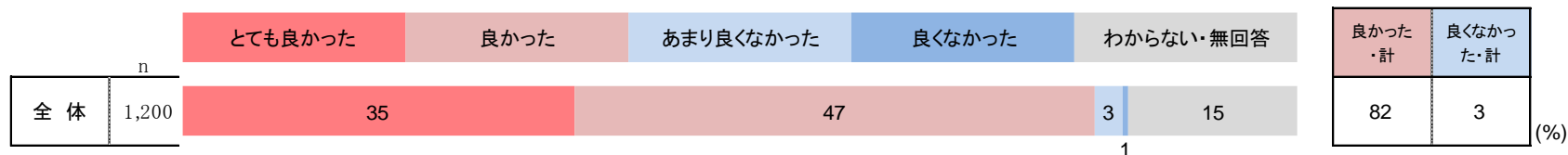
- ◆ 次回2020年の「東京オリンピック・パラリンピック」についての興味関心度を聞いたところ、全体では、
- ◆ 「とても興味・関心がある」が43%、「やや興味・関心がある」は38%で、合わせて80%の人が関心を持っていると回答した。
- ◆ 反対に、「全く興味・関心がない」と「あまり興味・関心がない」という回答は、合わせて13%と少ない。
- ◆ 先ほどの「リオ オリンピック」の評価では、「とても良かった」が35%だったが、2020東京への関心度では「とても興味関心がある」は43%と、1つめの選択肢の回答率が高くなっている。質問内容が評価と関心で異なり、選択肢のワーディングも違っているので単純比較はできないものの、2020東京への期待感今年のリオデジャネイロ以上に高いのではないかと推察される。

■ 全体

Q 次回2020年に開催される「東京オリンピック・パラリンピック」について、興味・関心がありますか。あなたにもっとも近いものをお知らせください。
(〇は1つだけ)

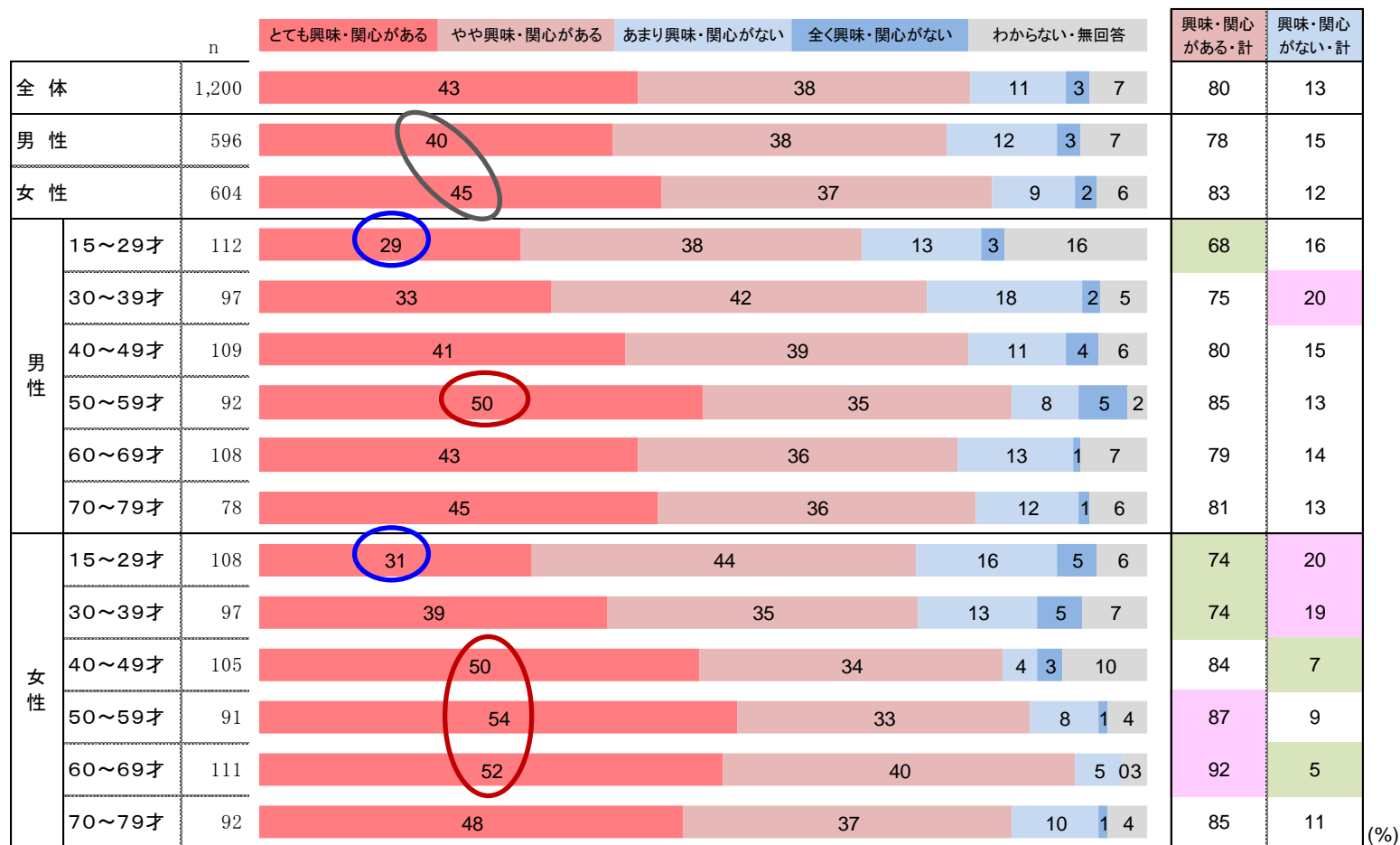


(参考) リオ オリンピック・パラリンピックの評価



- ◆男女別にみると、大差ではないが、男性に比べて女性の評価がやや高い（「とても興味・関心がある」では、男性40%<女性45%）。
- ◆年代別では、男性は50代、女性は40代～60代では「とても興味・関心がある」が5割以上と高い。一方、男女とも29才以下の若年層は3割前後と低くなっている。若年層は、今回のリオオリンピック競技の観戦率が総じて低かったが、次回東京への関心についても低い傾向がみられる。

■ 男女×年代別



(注) は全体より5ポイント以上高い、 は5ポイント以上低い

調査方法

- NOS（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）
- 調査員による個別訪問留置調査

調査対象

- 全国の15～79歳の男女個人 1,200人
※エリア・都市規模と性年代構成は、日本の人口構成比に合致するよう割付をおこなった

抽出方法

- 毎月200地点を抽出、住宅地図データベースから世帯を抽出し個人を割当て

調査期間

- 2016年9月調査 2016/9/1 ～ 9/13

NOS（日本リサーチセンター・オムニバス・サーベイ）について

調査パネルを使ってインターネットで簡単に情報収集できる時代になりましたが、NOSでは、45年以上にわたって、

①調査員を使った訪問留置、②パネルモニターではない毎回抽出方式で調査を継続しており、代表性のある信頼の高いデータを提供しております。

NOSは、毎月1回定期的に実施する乗り合い形式（オムニバス）の調査です。

毎回ランダムに決められた200地点にて、対象となる方に調査員が協力を依頼してアンケートを回収します。

性年代構成を日本の人口構成比に合わせているため、全体結果は日本を代表する意見としてそのままご覧になることができます。

インターネット調査では、回収が難しい60代以上の対象者やインターネットを使っていない人の実態や意識を分析するのにも有用な手法と言えます。

《 引用・転載時のお願い 》

本レポートの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

連絡先：日本リサーチセンター広報室 メール：information@nrc.co.jp

**掲載では必ず当社クレジットを明記していただき、
調査結果のグラフ・表をご利用の場合も、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。**